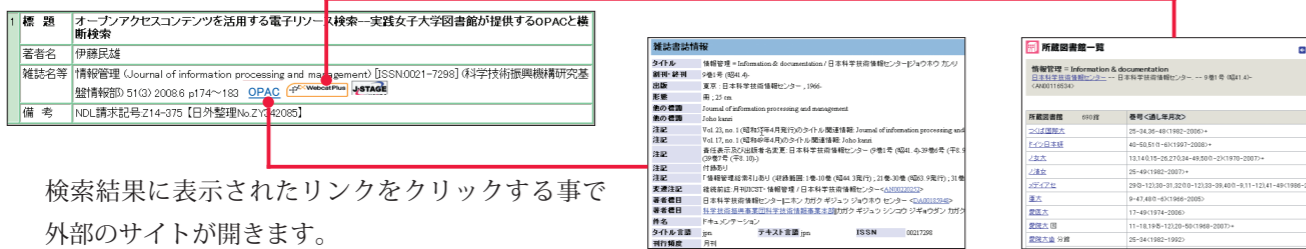


# MAGAZINEPLUS の外部リンク

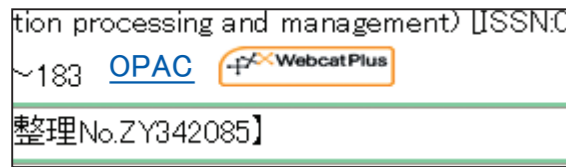
MAGAZINEPLUS ではオプションとして、様々な外部連携を実現しています。  
MAGAZINEPLUS の検索結果に表示される様々なリンクボタンをクリックする事で、直接図書館内の所蔵有無を確認したり、原文を読んだりする事ができます。  
※オプションサービスになりますので、お使いの図書館でお申し込みをしていない場合は使えません。



検索結果に表示されたリンクをクリックする事で外部のサイトが開きます。

## link.1 OPAC と WebcatPlus ~自館や他館の所蔵を調べる

- OPAC … 各図書館で作成されている所蔵目録のデータベースです。自分の図書館で該当の雑誌が所蔵されているかどうかすぐに分かります。
- WebcatPlus … 国立情報学研究所 (NII) が作成している、公共図書館や大学図書館の所蔵横断検索サービスです。他館の所蔵を確認する事ができます。



MAGAZINEPLUS 検索結果に表示される OPAC と WebcatPlus のリンクボタン。  
※ OPAC のリンクボタンは、お使いの図書館によって異なる場合があります。

## link.2 JJRNavi、J-STAGE、東洋経済~記事の原文を読む

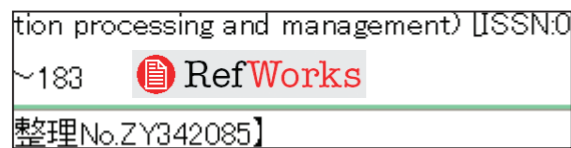
- JJRNavi … 実践女子大学図書館が作成している、日本のオープンソース（無料公開）の雑誌を探すデータベースです。JJRNavi を通じて記事を無料公開しているサイトに行き、閲覧する事ができます。
- J-STAGE … JST（科学技術振興機構）が運営している論文データベースです。オープンソース（無料公開）となっている記事も多数収録されており、原文を閲覧する事ができます。  
※有料公開の雑誌は、お使いの図書館で J-STAGE に契約していなければ閲覧できません。
- 東洋経済雑誌記事閲覧サービス…東洋経済新報社が発行する「週刊東洋経済」他 4 誌の原文を閲覧出来ます。  
※有料のオプションですので、お使いの図書館で契約していなければ閲覧できません。



MAGAZINEPLUS 検索結果に表示される JJRNavi、東洋経済、J-STAGE のリンクボタン。

## link.3 RefWorks ~参考文献のリストを Web 上で管理

- Ref Works… 米 ProQuest 社が開発した、Web ベースの文献管理アプリケーションです。自分専用の文献データベースを Web 上に作成できるほか、参考文献リストを Word などで書き出して論文に貼り付ける事ができます。



MAGAZINEPLUS 検索結果に表示される RefWorks のリンクボタン。

# MAGAZINEPLUS クイックガイド

簡単 3ステップ!

一般誌から学術誌まで約 30,000 誌を横断検索  
国内最大規模の雑誌記事データベース

## Step.1 キーワードを入力して検索



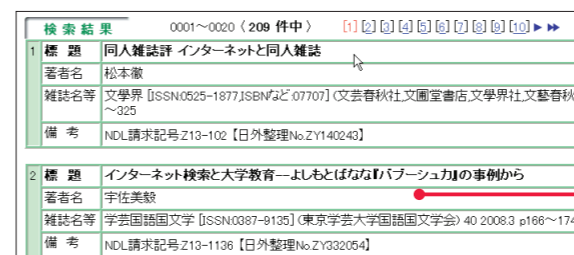
- ① 調べたい記事に関するキーワードを入力!  
キーワード・著者名・雑誌名などから  
インターネット 文学 キーワード
- ② 検索ボタンをクリック!!  
検索 オールクリア

## Step.2 件数を確認して一覧表示



- ③ 件数を確認して一覧表示ボタンをクリック!  
! 209 件 ありました 一覧表示
- ④ 一覧が表示されたら、全て表示させてみよう!  
詳細を表示する → 全て表示 チェックしたも  
0001~0020 (209 件中)

## Step.3 詳細表示で記事の掲載情報を確認



- ⑤ 論文/記事の……  
「タイトル」  
「著者」  
「どの雑誌」の  
「何号」の「何頁」か  
などの情報が確認できる。

より詳しい使い方は次ページ以降に!

# MAGAZINEPLUS を使いこなす

## Point.1 キーワードだけではない、より詳細な検索項目を使う

MAGAZINEPLUS で検索できる雑誌の一覧や、新着記事の確認ができます。

分からない事があれば HELP をクリック！

刊行年月を指定できます

プルダウンメニューで検索対象を限定できます

- ・キーワード
- ・著者名
- ・雑誌名
- ・出版社名

プルダウンメニューで「必ず含む (AND)」「いずれかを含む (OR)」「含まない (NOT)」を選べます  
※たとえば上の例では、キーワード「文学」を含む結果のうち、「日本文学史序説」を除いた結果のみが表示されます。

## Point.2 検索結果の一覧表示は、自分で見やすくカスタマイズ

一画面に何件表示させるかを選ぶ

一覧表示は項目を絞って表示されますが、「雑誌名」「著者名」「刊行年月」「出版者」のうち表示される2件を選べます。

一覧表示の並び順を選べます。最初は刊行年月降順（新しい記事から）になっています。

## Point.3 詳細表示させる記事を選び、オリジナル文献リスト作成

一覧表示でチェックをつけて、「チェックしたものを表示」をクリック！

あなたの調査・研究のための、オリジナル文献リストができました！

# MAGAZINEPLUS を知る

## Info.1 MAGAZINEPLUS とは？

「MAGAZINEPLUS」は一般誌から専門誌、大学紀要、海外誌紙まで収録した日本最大規模のデータベースです。国立国会図書館（NDL）の「雑誌記事索引」ファイルを検索するほか、「雑誌記事索引」ではカバーしきれない年報類・論文集（14,000点・61万論文）や、一般誌などを追加。MAGAZINEPLUS 合計で約30,000誌、1,058万件（論文・記事）を収録しています。  
〔データ更新：毎週〕

**構成ファイル**

- 国立国会図書館・雑誌記事索引(1946～)
- 記念論文集(1945～)
- 一般論文集(1945～)
- シンポジウム・講演集(1945～)
- 学会年報・研究報告(1945～)
- 一般誌・総合誌・ビジネス誌(1981-)
- その他 JOINT(経済文献研究会) KSK(機械振興協会)

**国内最大規模の  
30,000誌  
1,058万件！**

## Info.2 どんな時に MAGAZINEPLUS が使えますか？

例えば論文やレポートを書くときに、今まで書かれた文献を調査する事は欠かせません。膨大な雑誌記事の中から、どうやって文献を見つけ出すか・・・こんな時に MAGAZINEPLUS は威力を発揮します。

### ① レポートや論文のテーマ設定

今度のテーマは「インターネットと文学」にしよう。

### ② MAGAZINEPLUS を検索して参考文献の調査

なるほど・・・こんな論文があるのか。必要そうな文献だけリスト化しておこう。

### ③ OPAC で館内所蔵を確認し、参考文献を読む

この論文のこの部分、自分のテーマに深く関わるものだな。引用して自説の論拠としよう。

**外部リンク**

- ・ Refworks への取り込み
- ・ SFX など各種リゾルバとの連携
- ・ OPAC リンク
- ・ WebcatPlus リンク
- ・ J-STAGE リンク
- ・ DOAJ リンク
- ・ 東洋経済雑誌記事原文リンク (有料)

外部リンク機能を使えば MAGAZINEPLUS の検索結果から、直接 OPAC を調べたり、原文を読んだりする事もできます。詳細は次ページに！